

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38448	
事業名	赤ちゃんの耳のきこえ支援費						
評価担当課	所属名	保)保健所 健康企画課					
	課長名	斉藤 佳代子	担当者名	金田 恭次郎	電話番号	011-622-5151	
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他					
	目的	短期	新生児聴覚検査受診率 90%⇒100%(2022年度)				
		長期	全ての新生児及び乳児への健やかな発育・発達の保障				
	取組内容	市民へ新生児聴覚検査の正しい知識の普及啓発を行い、受診者の経済的負担の軽減を図るとともに、医療機関等とのネットワークを構築し、先天性難聴等の早期発見及び適切な療育につなぎ健やかな発育発達を支援する。 ①新生児聴覚検査費用助成 ②みみのきこえに関する普及啓発 ③みみのきこえに関する関係機関とのネットワーク構築					
実施結果	令和3年度の新生児聴覚検査委託料支払い件数(償還払い含む)は10,806件						
事業実施における工夫点	母子健康手帳交付時や新生児訪問実施時にリーフレットを配布し、事業周知を行った。						
対象者	新生児及び乳児とその保護者			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	母子保健法、少子化社会対策基本法						
他都市の状況	他政令市の状況:実施18市						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	30,741	37,000	32,414	36,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.8	0.8	0.8	0.8	
人件費	5,760	5,760	5,760	5,760	
計(事業費+人件費)	36,501	42,760	38,174	41,760	
事業費の内訳	令和3年度決算	委託料31,681千円、負担金734千円			
	令和4年度予算	需用費583千円、役務費93千円、委託料34,169千円、負担金1,155千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	新生児聴覚検査受診率			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	86%	95%	90%	100%	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	令和2年度から新生児聴覚検査費用の公費負担を開始、費用助成件数は10,806件(出生数の89.9%)であった。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	実施要綱を定めて実施。札幌市に住民票のある妊婦が出産した児(児も札幌市に住民登録をしていること)が受検した新生児聴覚検査の費用については、助成を行っている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	単なる費用の助成だけでなく、支援が必要な児を把握した場合については適切な療育につながるよう支援を行っている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	新生児聴覚検査の費用の一部を公費負担することにより、経済的負担の軽減を図る事ができた。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	引き続き事業周知を行い、受検率の向上を目指す。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	事業の周知及びネットワークの構築		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	事業開始2年目であるが、助成件数は10,806件(出生数の89.9%)であり、助成率も増加しており、事業周知が図れた。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 引き続き事業周知を行い、受検率の向上を目指すとともに、支援が必要な児を把握した場合に適切な療育につながるよう医療機関等とのネットワークの構築を図っていく。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 事業内容に大きな変更はないため、今年度と同程度の費用が見込まれる。		見直し効果額	0